

山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会  
令和3年度 事業成果（事業評価）報告書

令和3年度山武市市民提案型まちづくり推進事業審査会の審査結果を次のとおり報告いたします。

記

- 1 審査委員 10名
- 2 審査方法 実績報告書による書類審査及び成果報告会による発表
- 3 審査団体 スタート部門1団体  
チャレンジ部門2団体
- 4 審査講評 各事業実施団体からの成果報告については、コロナ禍等社会情勢の影響により計画内容の見直しを行った団体もありましたが、概ね事業目的に沿った適正な活動であったと認められます。  
各団体の事業評価内容は、別紙のとおりです。

## <スタート部門>

### ■ 美杉野4丁目自治会

地縁団体による地域美化活動や通学路の安全管理をテーマにした地域に住む住民にしかできない活動をきっかけに、自分達の住む地区の「ありたい姿」を住民の話し合いから実行していく姿勢は、協働の原点と考えます。

草刈り受注活動、通学路周辺の除草、看板の設置、散策路の除草とそれぞれの活動ごとに活動状況がまとめられ、わかりやすい報告書となっています。写真によるアピールも効果的です。

足がかりとしての地域美化活動が計画を上回る成果を上げ、自治会の共助活動に発展させる目標にしっかり向かっています。寄付金の額に発注者の感謝の気持ちが表れています。自治会中心の組織的なまちづくりを今後近隣地域にも拡大してほしいと考えます。目標に向かって地域づくりの良いモデルに成長していくことを期待しています。

### ■ 本須賀第二区

公民館「しおさい」を中心に、地域住民を巻き込む体制をつくり、地域課題の解決に向けて自分達の手でなんとかしていくという考えは評価に値します。地域住民の話し合いで進める事業は、地域のことを自分ごととして考えるきっかけづくりに繋がります。今後の地域運営組織である「区」の存続に関わる重要な課題の解決策として注目しています。

地域住民へ周知のため、さまざまな方法で取り組んでおられますが、住民の高齢化が思うように活動理解を得られない要因なのではないでしょうか。対象者にわかりやすい伝達方法のさらなる工夫で、賛同者・参加者の増加を期待しています。

新型コロナウイルス感染症が終息しないなか、可能な活動を続けていることはすばらしいと思います。体力測定は健康づくりの土台を成すものなので、これからの活動展開でも大切にしてください。思うように開催できないこともあるかと思いますが、できる時にできる活動をこれからも続けてほしいと思います。コアメンバーを中心に大学や外部専門家と連携しながら事業の実施をしていくなど、今後も連携を大切に活動を継続されることを期待します。

## ■ ぐるっと山武 50km ウォーク実行委員会

テーマ型の市民活動団体による事業として、山武市の魅力発信や関係人口の創出に寄与するものと思います。コロナ禍の活動しにくい状況下で、歩くためのマップという山武市の新しい財産をつくり出しました。森コース、街コース、海コースの5kmコースは、コースも内容も魅力的で「歩く」を楽しめる内容です。余裕を持って歩くことで深く山武市内の各所を知ることができると思います。高齢化が進む中で、健康増進もキーワードの1つとなっていますので、気軽に参加できるスタイルも大切ではないかと思います。

インターネットを使用することが、活動内容の充実に役立っていることがわかりました。InstagramやTwitterなどのSNSを利用した情報発信による山武市の魅力発信につながり、移住定住のきっかけになることを期待しています。

予算に着目すると、郵送料が事業全体の25パーセントを占めています。今後は燃料費の高騰など他の経費もかさむと思われますので、郵送のみならず周知方法を検討されるのはいかがでしょうか。

50km ウォーク実行委員会の目指すものを形を変えて実現している事業であると評価します。写真入りでわかりやすいマップ作りをありがとうございました。